

感動のまち・伊賀上野

2015・8

上野商工会議所
<市庁舎跡地と周辺地域利活用検討委員会>

もくじ

趣 課	旨 題	1 2						
回 移	遊 動	を 手	促 段	す	3 4			
居 お	心 城	地 テ	の ア	良 ラ	い ス	場 所	を	5 6
芭 薫 翁 フ ロ ア								7
陶芸フロア(伝統工芸)								8
組紐フロア								9
ルーフプラザ								10
メディアセンター (観光インフォメーション隣接)								11
ドライブスルー図書館								12
忍者道場								13
アートボックス街								14
武士道館								15
ばしようと偉人ミュージアム								16
風土(フード)パーク								17
菅原神社								18
ぼくらの館								19
脳トレ科学館 (伊賀学検定コーナー併設)								20

趣旨

まちの将来を真剣に考える。

永続的な発展にむけて

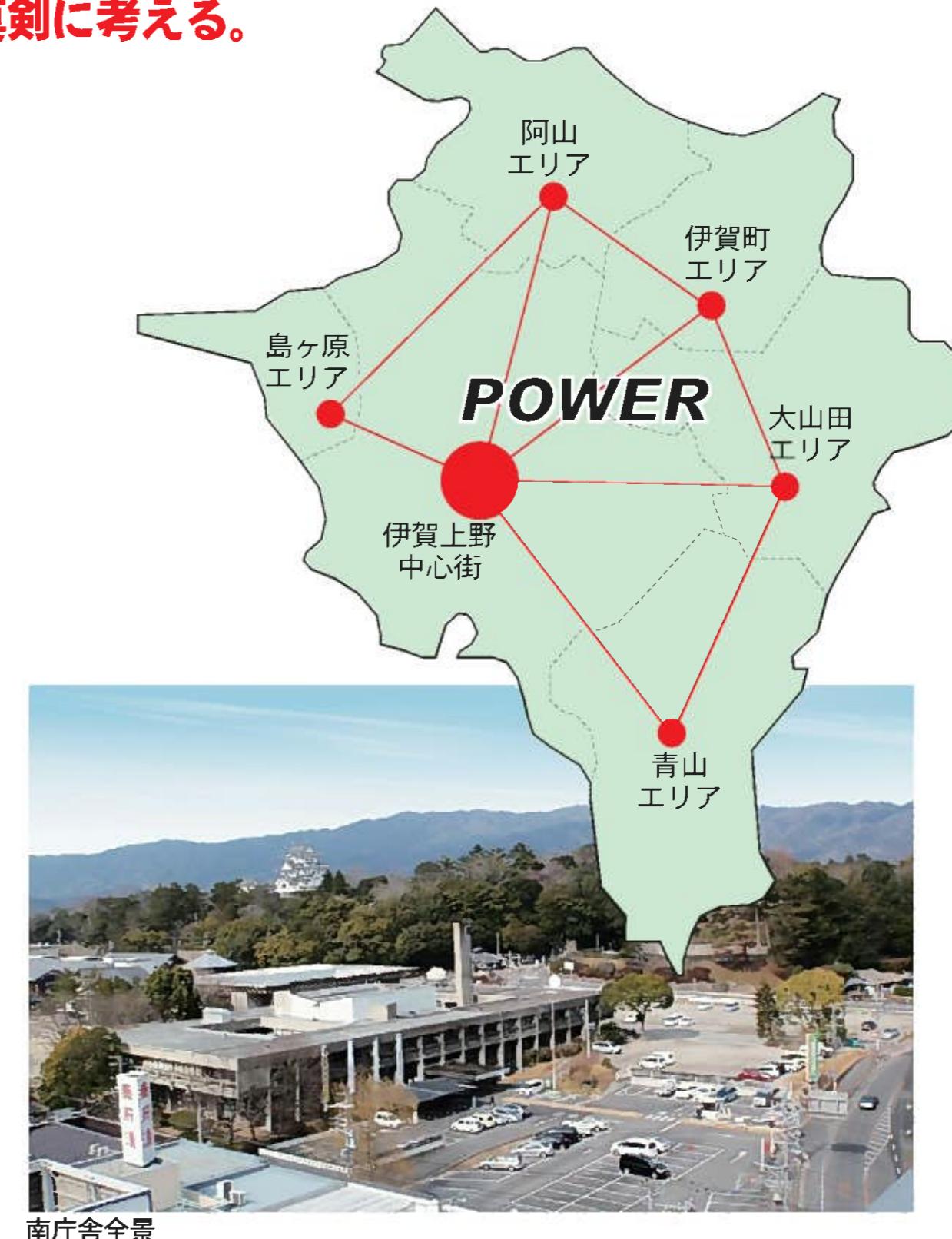
伊賀市においては、超一等地である南庁舎の跡地及び消防署跡地、桃青中学校跡地等を魅力ある施設としてリンクさせ、その有効活用が市民と観光客にとって、大きな課題となっている。

提案するグランドデザインは、ヒトと地域が元気になり、経済も栄え、永続的に発展するにはどうすれば良いか。また、観光地として伊賀市独自の存在価値を高めるにはどうしたら良いか。

市街地の現状をふまえた上で、交通アクセスにもたいへん恵まれた一帯であることから、この場所を中心に、伊賀市全土に及ぶ賑わいの創出を行いたいと、伊賀市に提出するものである。

活気に満ちた新たな賑わいを創出するには、歴史資産を最大限活かし、新しい要素を効果的に加え、自助努力も含め市民と行政が一体となって魅力あふれる豊かなまちに育っていくことが、成長曲線を描くための必須条件であると考える。

※グランドデザイン：ある程度広範囲の地域に、時間をかけ遂行する事業計画



課題

超一等地と周辺の状況



南庁舎



上野市駅前



成瀬平馬屋敷門跡地



桃青中学校



消防署



上野図書館



菅原神社



銀座中央駐車場

現状…閑散



公共施設跡地の利活用を行う事で、
店舗や施設に大きな影響を与える。

改善・改革



市民と観光客のコラボレーション化

グランドデザインが必要不可欠

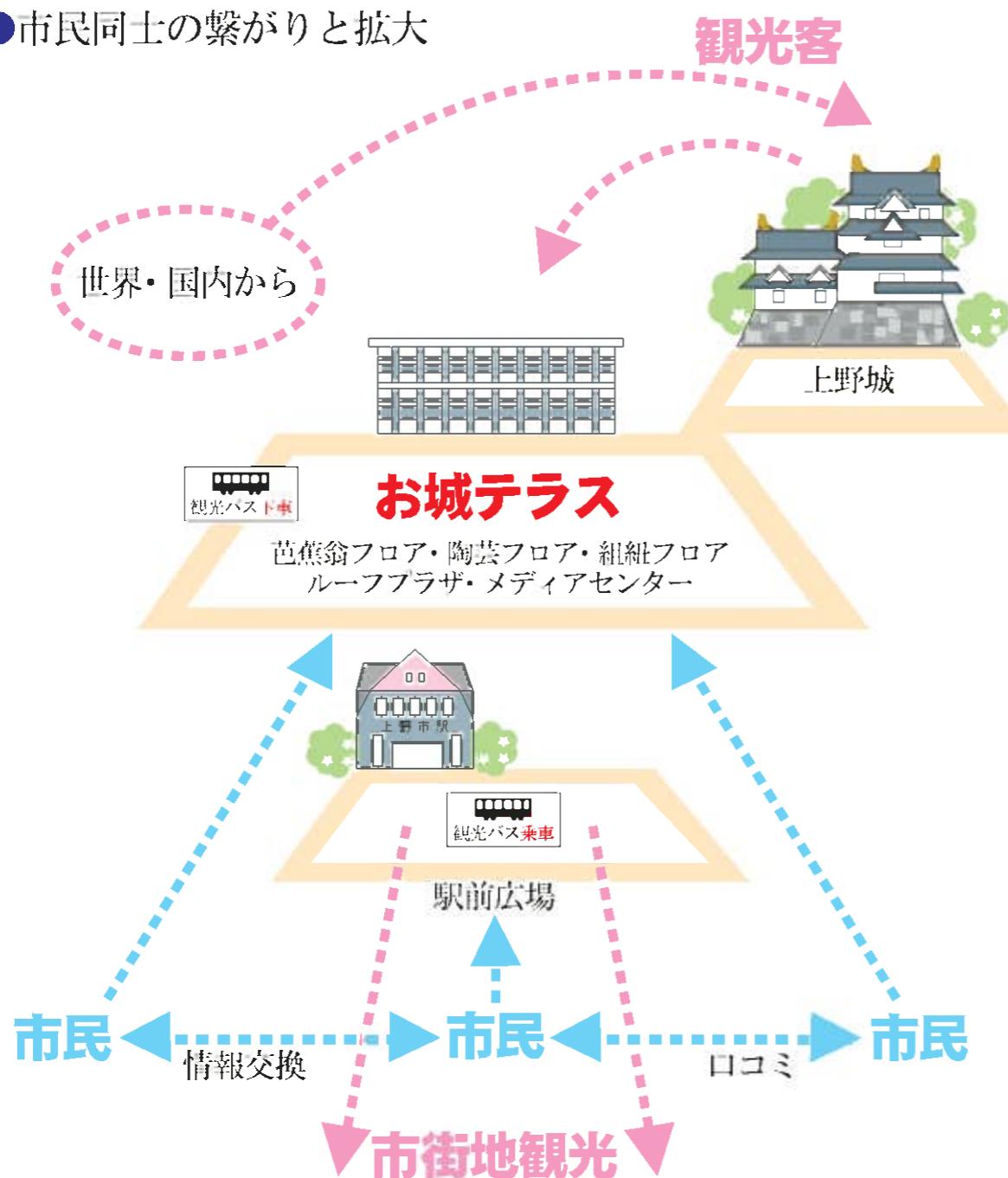
賑わいの創出が急務。

回遊を促す

興味や向上心を刺激し集客する

回遊ルート図

- 観光客を機能的に誘導
- 市民同士の繋がりと拡大



移動手段

伊賀の観光資産を巡る

移動手段

語り部の同行が可能
モバイル機器の
活用システムを構築



シェアサイクル

貸出拠点を設置し、利用者がどこでも
貸出し・返却できる新しい交通手段。



周遊タクシー

広範囲を楽しみたい観光客に最適。運
転手が語り部として案内してくれる。



人力車

城下町の風情を眺めながら、まちなか
をゆったりと周遊できる。



伊賀鉄道

一日定期切符などで、おもに茅町～西
大手駅周辺の観光を促進する。



しらさぎ号

田上野市街地を走るコミュニティバ
ス。市民と観光客の重要な交通資源。

観光コース

●芭蕉

芭蕉翁プロア 生家 故郷塚 佛聖殿 裴虫庵

●歴史・文化

上野歴史民俗資料館 旧崇廣堂 ばじょうと偉人ミュージアム

●神秘

菅原神社 寺町 恵美須神社

●見学

だんじり会館 旧小田小学校本館 工場見学

●体験

陶芸プロア・組紐プロア 農業体験

●忍者・武士

武士道館 忍者道場 伊賀越資料館 入交家住宅 赤井家住宅

●自然

ふるさとの森 青山高原

●伊賀名物食べ歩き

伊賀牛 地酒 田楽 かたやき・せんべい 漬物 和菓子

居心地のよい場所を

市民と観光客のために

賑わいの中心地

お城
テラス

市庁舎跡地(拡大図)



夜景スポットとして誘致するために、まちをライトアップ。(上野城と銀座通り)



清潔で明るい公衆トイレを利用しやすい場所に適宜配置



異空間を楽しむ地下道



伊賀特産みやげ横丁

武士道館 **D**

A ドライブスルー図書館

B 忍者道場

C アートボックス街



遊歩道にストリートファニチャーと円形の子テラス(休憩所)を数ヶ所設置



ヒトの流れを促進するスクランブル交差点

E ばしょうと偉人ミュージアム

F 風土(フード)パーク

G 菅原神社



観光案内のサインを統一する。

グランドデザイン地図

H ぼくらの館

I 脳トレ科学館

お城テラス

伊賀のワクワク空間

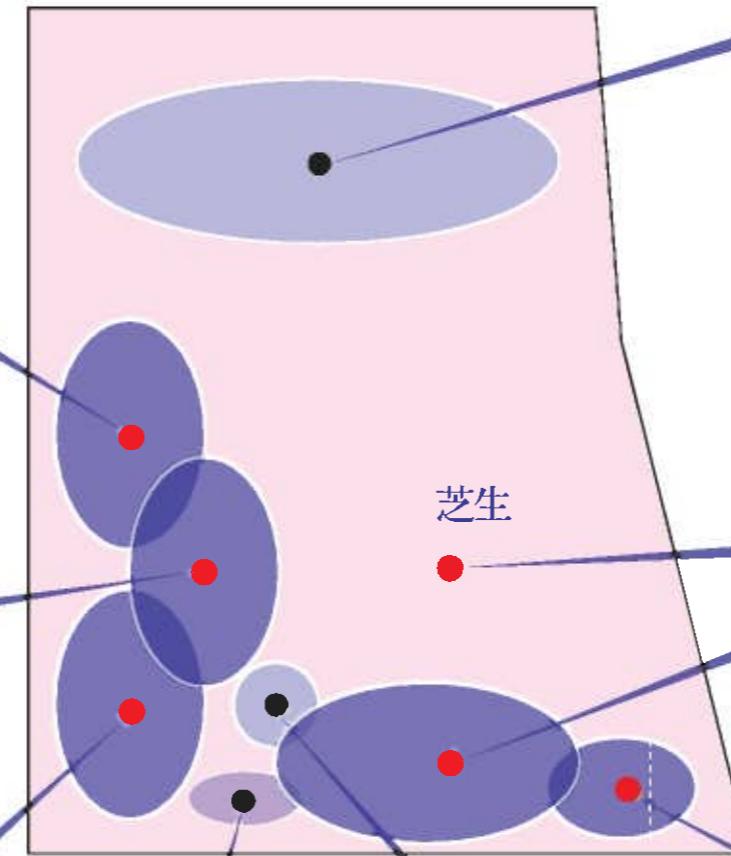
1 芭蕉翁フロア



2 陶芸フロア (伝統工芸)



3 組紐フロア (伝統工芸)



伊賀ブランド案内
本物を試食して割引券をもらい、
市内のお店で購入。



フリースペース
自在な空間

4 ルーフプラザ
(屋根つき広場・野外芝広場)



5 メディアセンター
(観光インフォメーション隣接)



芭蕉を知る

市庁舎跡地構想

1

芭蕉翁フロア

視覚で知る

迫力のビジュアル施設として、芭蕉の軌跡を知る。



深さを詠む

句碑から見抜く。



おもしろや 今年の春も旅の空

伊賀には、「芭蕉を広める使命」がある。

わがまちの偉人「松尾芭蕉」。

その本質を人々に広く正しく普及すること。

これが伊賀の絶対的使命である。



世界的にも知られる、俳聖「松尾芭蕉」。蕉風と呼ばれる芸術性の極めて高い句風を確立した日本史上最高の俳諧師の一人。

伊賀に生まれ、大阪の銀杏並木の下で生涯を閉じるまでの芭蕉の人物像に迫り、句碑の紹介や奥の細道・更科紀行などの旅路をビジュアルと共に体感。より理解を深め、一層の親しみを持つてもらう。

市内にある芭蕉の生家や糞虫庵、俳聖殿の紹介も行い、観光客をまちなかにも回遊させていく。また、上野図書館跡に計画予定の「ばしょうと偉人ミュージアム」にて、芭蕉の貴重な作品や多くの資料を展示予定のため、芭蕉ファンを納得させる全体感を演出する。

伊賀焼と組紐を世界遺産へ！

市庁舎跡地構想

2 陶芸フロア

古伊賀エリア

古伊賀の展示・資料館・陶芸図書コーナー、上映など、研究にも役立つ奥深いスペース。



見学エリア

現役職人の技や心意気をこの眼で確かめる。



体験エリア

自分の作品をコンテストなどでお披露目する。



市庁舎跡地構想

伝統工芸

古伊賀の神髓を堪能する。

四百万年前の遙か昔、伊賀盆地は古琵琶湖の底にあった。

その湖底の良質な粘土で作った装飾性の高い水指や花入、茶器など、数多くの作品が国の重要文化財指定を受けている。

伊賀焼エリア

古伊賀に劣らない、多くの窯元が作陶した現代の作品を展示・販売。



3 組紐フロア

伝統工芸

展示・販売エリア

洋風・和風、さまざまなアイディアを盛り込んだ、お土産にも喜ばれる展示・販売コーナー。



美しい絹糸を美しい心で組み続ける。

全国生産の9割を占める伊賀の組紐。

その起源は、約1300年前の奈良時代といわれ、

この深い歴史を自らが受け継ぎ、次世代へ永遠に繋いでいく。

見学エリア

糸割～染色・糸繰り～仕上まで
制作工程を楽しめる。



体験エリア

柔らかな感触の絹糸を
自分好みに組み上げる。



注目度アップ

伝統工芸に精通した
「ゆるキャラ」が、
ユーモアを交えて
館内を楽しく案内する。
(キャラクターは未定)

伝統工芸館の新たな挑戦

伊賀を代表する伝統工芸品、「組紐」と「伊賀焼」。この素晴らしさを、より多くの人々に流通するために、新たな挑戦として「ペルシャ絨毯のような高級感あふれるタペストリー(仮)」や「ガラスに組紐を織り込んだステンドグラスのような工業製品(仮)」、「組紐を使用した光と影をもたらす纖細な障子紙(仮)」、伊賀焼も、横浜・日産スタジアムにあるような壁画を制作したり、日本陶磁の最高峰である風貌をそのままに、「軽く割れにくいものを新・伊賀焼(仮)」として作陶するなど、世界に通用する新商品の研究開発にも果敢に取り組み、夢のある成長産業を築いていく。

見る・参加する・感動する。

市庁舎跡地構想

4

ルーフプラザ



超一等地。主役は市民。

イベントに参加して、一生忘れない想い出を作る。

見て、泣いたり笑ったり、感動したりする。

やがてこの場所は、市民にとって、大切な場所となっていく。

明るいガラス屋根の下、大型スクリーンでのサッカー観戦や、室内スポーツ、野外コンサートや、市民交流、生涯学習活動、新鮮野菜を提供するマルシェ(朝市)など、地元の優良企業とのタイアップも行いながら、ありとあらゆるイベントを開催できる、全天候型の多目的広場。

市民や観光客をいきいきと彩ることができる大型空間は、子育て世代や高齢者にも配慮した、市役所窓口や銀行、郵便ポストや宅配便、調剤薬局、クリーニング店など、市民生活に密着したサービスの充実も含め、災害時の避難場所としても優れた機能を発揮する。

美味しいランチやコーヒーを楽しめる「中庭カフェ」も併設。イベントのない静かな日は、芝でゴロゴロ寝転んだりテラスでくつろいだり、ひとりでもゆっくりと楽しめるような、自由自在な憩いの広場として、多くの市民や観光客に利用してもらう。

情報発信基地

市庁舎跡地構想

5

メディアセンター

観光インフォメーション隣接



お城テラスから発信。テレビ・ラジオの基地局。

市民と観光客の求める情報を発信する、まちのサテライトスタジオ。

お城テラスで開催されるイベントのライブ中継や実演販売、
伝統工芸品の紹介や緊急放送にも対応する。

まちなかで番組を間近に見ることができる、ガラス張りの情報発信基地。公開生放送なども行い、通行人や買い物客も惹きつけ、また、自宅のテレビやラジオからも鑑賞できて楽しい。

伊賀市から日本・世界へ、伊賀のことを発信できる媒体として、不特定多数を相手に、幅広く伝達する。

最新の音楽・ファッション・カルチャー、時には芸能人なども交えて、さらなる集客を戦略的に行う。また、観光インフォメーションを隣接させることで、観光客に役立つ情報も満載。

情報発信の場に情報も集まり、ヒト・モノ・資本も潤うと確信し、メディアを積極的に活用していく。

便利さを満喫する。

A ドライブスルー図書館

消防署跡地



日本一便利な、24時間稼働型の図書館。

「借りるだけなのに…。」「返すだけなのに…。」

わざわざ車からおりて、受付カウンターに行く手間を省いた画期的な施設。
雨風からも本を守り、効率的かつ利用者にやさしい図書館。

市街地の北側に存在する消防署跡地は、静かな環境だが、近隣に新しい市街地があり、人が多く行き交っている場所である。無料駐車場も充実しているので伊賀全土からのアクセスも良好。

長くゆるい坂道があるがここを資源と捉え、伊賀関連のストリートファニチャーを並べて景観に彩りを与える。また、休憩用のベンチと子テラスを配置し、お城テラスとの連続性をもたせる。

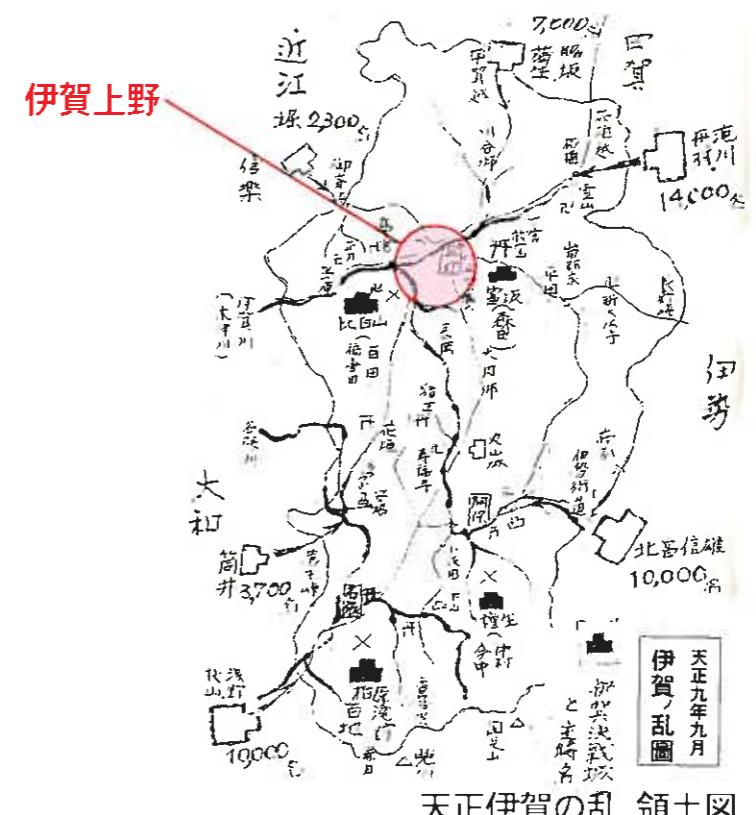
当図書館は、騒音等の面からなるべく複合施設との併用は避け、多忙な人たちに対し、本の貸出(インターネットでの予約)や返却に、24時間稼働型のドライブスルーシステムを取り入れることで、利用者や館内担当者に大きな利便性を与えることが可能な施設とする。

※当地は浸水想定地域内(浸水0.5以上～1.0m未満)のため、一部高床式かヒロティ方式を採用。

忍術の奥義を使う

B 忍者道場

桃青中学校校舎跡地



忍者アトラクションで「伊賀魂」を実践。

「伊賀の者、いちにんも生かすな」

伊賀者の能力の高さに脅威を感じた織田信長の言葉。(天正伊賀の乱)

その優れた忍術を体で学び、自身の能力も高める。

現在の桃青中学校の校舎・体育館を改修し、忍者アトラクションとして、再利用できるよう計画。多くの勇将のもとで縦横無尽に活躍した伊賀の優れた忍者たち。今流行りのプロジェクトマッピングを駆使しながら、現代にはない、切ることに特化しない忍者刀や、手裏剣、農具にしか見えない万力鎖、その他、数々の秘密道具を体に装着し、忍術に挑戦。来場者の昂揚感を高めていく。

外国人からも日本特有の Ninjya として人気があるので、安全面を考慮した上で難易度のランクを設け、トレーニングをしながらランクアップしていくなど、小さな子どもから大人、外国人に至るまで楽しむことができる、満足度の高い施設とする。

その他、服部半蔵や天正伊賀の乱の考察、忍者の知られざる実態なども映像で紹介していく。

※市が用途地域を変更すれば、建設可能

将来に夢と希望を。

c アートボックス街

桃青中学校校舎跡地



桃青の丘に向かう坂道

作品を立て並べ、
楽しみながら坂道を登る。



芸術家との交流も可能にする発信の場

新進気鋭のアーティスト達を積極的に支えるために、才能を発揮できる場所を設け、ミュージシャンのライブや、絵画・オブジェの展示など、伊賀のアートに勢いを持たせていく。

前出の「忍者道場」と同様、桃青中学校の校舎・体育館を改修し、その一角を若い新進気鋭のアーティストの発表の場として再利用。

教室のスペースをそのまま活かした、ボックス型が連なる個々のスペースで、美術をはじめ服飾デザイナーや建築家志望の学生、あらゆるジャンルの音楽ライブや、ダンスなどを行える、個性溢れる場所として、多くの人々に利用してもらう。

※市が用途地域を変更すれば、建設可能

透徹した生き方に習う。

D 武士道館

成瀬平馬屋敷門跡地



武士道精神をものにする。

思想が行動となる武士たちの情熱や勇気、
美しいとされる所作を具体的に追体験。
その高い精神性を日常に最大限活かしていく。

敷地は 1074m²(325坪) 上級武士の屋敷跡。江戸末期(文久年間)建立。現市庁舎や市駅、ハイピアに近い市街地の中心地。市内への誘導ルートとして大変有利な立地。

道路に面して建つ、古い武家造りの長屋門は、少し傾いているが堅牢であり、門扉を再現し修復すれば、立派な建築物になると思われる。

現在、長屋門以外は更地であり、西側の隅に井戸があるようで、その上に井戸屋形(最近建てられた)が建っている。

ここに、平屋建ての武士道館を計画し、藤堂高虎・荒木又右衛門の紹介をはじめ、武士の衣装を身に着けて、倫理や道徳に秀でた武士道を実体験できる施設とする。

叢智の結集

E ばしょと偉人ミュージアム

上野図書館跡地



伊賀の宝を見る・守る

松尾芭蕉の研鑽をはじめ、伊賀にゆかりのある作家や画家の紹介、
作品の展示など、伊賀を代表するミュージアムとして計画。
文化芸術の向上に貢献していく。

現存する上野図書館は、まちの造りに溶け込むような蔵風
につくられており、城下町にふさわしい外観となっている。

ここを、伊賀を代表するアカデミック施設として再利用す
ることで、文芸や文学作家、絵画・書道家等の芸術家を多く輩
出し、地元にゆかりのある松尾芭蕉をはじめ、横光利一・柳莫
山・元永定正などの作品を展示。ほか、市展の選考など、伊賀
の文芸の中核となる事務局を兼ね備える。

また、芭蕉の偉業や遺跡を研鑽し、俳句と芭蕉文学の研究、
蔵書保管庫も併設。

ただし、建物が敷地境界ギリギリに建てられていて、閉塞
感があることから駐車場側の1階の壁を半分解体し、新たに
ピロティとエントランスを設け、ベンチやテーブルを配置す
るなど、芸術家や来館者が語らい、やすらげる空間を新たに
創り出す。

美味しいものをほおばる。

F 風土(フード)パーク

天神さん周辺一帯



楽しい・安い・おなかいっぱい。

他にはない、伊賀だけの個性を発揮した、有料のフードパーク。
多くの出店が並び、お土産も買える。
何度も遊びに行きたくなる唯一のスポットを目指す。

新・食べ放題 新・飲み放題。



(仮)伊賀牛うどん



(仮)伊賀地ビール



(仮)伊賀あんみつ



商店街の活性化が可能。地元の食材を使ったメニューを軒なみ並べ、有料のフードパークで思う存分楽しんでもらう。

また、伊賀米、伊賀牛、地酒、和菓子等と肩を並べる食品を増やすために、作る側に競争力を持たせながら、質の高い食品を観光客や市民にその場で提供していく。結果、伊賀ブランドと共に、新しいメニューの認知度も相乗効果として高めていく。

あらかじめ、注目度を増すために、開発途中の食品を「試食まつり」で吟味してもらったり、お城テラスで開催中のマルシェ(朝市)で販売している野菜の味も、風土(フード)パークで確かめることができる。

さらに地元密着型のお土産屋さんを展開することで、新たな勢いと商いも生まれ、雇用も多く発生する。

パワースポットで実感する

G 菅原神社
天神さん



くみひもで願かけグッズを開発



祈りが届きますように。

「どうしても」の全ての想いに応えたい。

天神さんから、凄いパワーをもらえるかもしれない。

そして、「上野天神祭」で城下町を練り歩く百数十体の鬼行列や豪華絢爛なだんじりが、世界中に知れ渡りますように。

新しくなった拝殿。伊賀上野の神社として最高のパワースポットとなるよう考案し、伊賀伝統のくみひもを願かけグッズとして開発するなど、学問の神様として、おもに受験生の合格祈願や医学部など学部ごとの願かけもあり、成就を願う人たちの注目の場所となるようにしていく。

また、400年の伝統を持つ伊賀最大の上野天神秋祭(鬼行列とだんじり)は、国の重要無形民俗文化財に指定されているが、「ユネスコの無形文化遺産」にも登録されるよう働きかけ、世界的な認知度を高めて、より一層観光客を呼び込むものとする。

18歳以下、専用。

H ぼくらの館
上野市駅前



西大手駅 ————— 上野市駅 ————— 広小路駅 ————— 茅町駅
1日定額切符で乗り降り自由(伊賀鉄道)

未来を担う子ども達の、とておきの場所。

大人は入りたくても入れない、子どもの自立を強化するドキドキ空間。
上野市駅前にあるため、自動車免許のない小中学生が電車に乗って、
自発的に遊びに来ることができる。

上野市駅前の民間ビルを活用。その1階部分に計画。施設の管理は大人が行うが、18歳以上は入れない。ただし、安全面や風紀面に問題がないよう、全面ガラス張りとするため、常に大人達の目が子どもを守ることができるように仕組みとする。

将棋やオセロ、カルタ、トランプなど、人間相手の対戦ゲームで、テレビゲームでは考えられない難しさや、喜怒哀楽を目の前にした達成感を味わい、ヒトとしての経験値を上げていく。また、宿題が出来る自習室など、勉学に役立つコーナーも設置予定。優秀な子どもにはメダルを贈呈。

そして徐々に、友達の輪も広がり活発な交流も見込めるため、上野市駅前が若くいきいきした輝きを放っていく。

2階は、周遊タクシーの運転手や語り部たちの休憩所として機能。隣接する伊賀鉄道も茅町駅～西大手駅の間を1日定額切符でもてなす(老若男女対象)など、訪れる人のフットワークを軽くする。

高齢者向けの地域再生施設

■ 脳トレ科学館

伊賀学検定コーナー併設
銀座中央駐車場跡



最新科学に基づくゲームで
脳を鍛えよう！



七月
五日

四文字の漢字は？
龍 満員御礼

別名、高齢者の「脳トレ学校」。

脳の可能性をもっと引き出すために、

昔なつかしい学校に通うように、毎日来てほしい施設。

今日も、「脳トレ学校に行くって来るね。」……お弁当持ち込み可。

記憶力や集中力・柔軟な発想力などを、最新科学に基づくゲームで脳を鍛えることができる施設。スマホ教室やパソコン教室、高齢者の認知症予防や視力回復を助けるプログラムなどもあり、実生活にも役立つ「やる気」と「元気」を促進させる高齢者を支える施設とする。

また、伊賀学検定コーナーを設け、受験者をフルサポート。伊賀力を高めるための豊富な資料や、模擬テストなども行っていく。

別名「学校」というコンセプトから、お弁当の持ち込みを可能にし、自動販売機を並べたスペースで大いに楽しんでもらう。相乗効果として高齢者同士の交流も活発になり、笑顔も増え、充実した日々に花を添えていく。

なお、上記の答えは「龍」と「満員御礼」である。

市庁舎跡地と周辺地域利活用検討委員会

	氏 名	事 業 所 名
委 員 長	西 尾 勲	(株)白鳳建築設計事務所
副 委 員 長	山 本 穎 昭	上野電工(株)
委 員	中 井 茂 平	上野都市ガス(株)
	谷 垣 幸 次 郎	イシダフーズ(株)
	松 田 充 雄	(資)糸源
	奥 井 実	上野ハウス(株)
	辻 本 剛 廣	(株)中京銀行 上野支店
	山 本 雅 彦	メロディアン(株)三重工場
	清 水 利 恵	伊勢之家
	中 村 信 通	(株)ナック
	松 本 正 博	(株)上野建築研究所
	小 林 俊 明	(株)百五銀行 上野支店
	油 屋 藤 夫	(株)ブーケ
	中 田 洋 二	中田行政書士事務所
	宮 崎 慶 一	養軒漬宮崎屋(株)
	辻 浩 希	(有)小澤総合保険センター
	西 出 孝 子	(有)ステージコラブレーションIGA
	福 山 浩 司	(株)ウヲジ
	上 山 了	栄玉亭
	兼 本 政 一	兼本亭
	稻 垣 八 尺	(一社)伊賀上野観光協会
	松 並 克 己	まつなみ建築工房
担当副会頭	田 山 雅 敏	中外医薬生産(株)

<イメージ画像・転載元> ※以下サイトより抜粋

2	南庁舎	http://4travel.jp/travelogue/10713462
	銀座中央駐車場	http://www.ict.ne.jp/~ginza/gincyu.htm
4	シェアサイクル	https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/2015/01/30_00.html
	周遊タクシー	http://www.kanko-izumi.com/tourist.html
	人力車	http://www.kondo-sanko.jp/shouhin/index.php?ID=7040601
	伊賀鉄道	http://white.ap.teacup.com/tobufan31601/2577.html
	しらさぎ号	http://blog.goo.ne.jp/seib_2005/e/df3555698fc5fd6f45ae9a95fb989a81
5	上野城	http://blog.livedoor.jp/mainami/archives/51822393.html
	銀座通り	http://minkara.carview.co.jp/userid/186285/car/74803/316867/7/photo.aspx
	案内サイン	http://seikoshokai.co.jp/roadsign/sign/
	伊賀特産みやげ横丁	http://iiyudane.com/kanko-tohoku/k-fukushima/oouchijuku/
	地下道	https://www.flickr.com/photos/77597060@N02/17254211783
	高虎像	http://mikawanokami.blog.so-net.ne.jp/2015-04-30
	ストートファニチャー	http://www.nitto-sg.co.jp/sisetu/hyoj-4.htm
	スクランブル交差点	http://matome.naver.jp/odai/2139320561688305401/2139390200507070203
	公衆トイレ	http://interiro.com/overseas-surprised-residential-design-258.html
6	組紐 1	http://www.kumihimo.or.jp/
	組紐 2	http://www.tsuyukusa.co.jp/fs/tsuyukusa/31-5104
	古伊賀 1	http://www.e-net.or.jp/user/iga-7/bunka/jiman/yaki/
	古伊賀 2	http://shinsblog304.blogspot.jp/2013_02_01_archive.html
	芭蕉像	http://blogs.yahoo.co.jp/ie_tora/29078228.html
	メディアセンター	http://proaudiosales.hibino.co.jp/case/711.html
	駐車場	http://www.port-hakata.co.jp/bldg/parking.html
	ルーフプラザ	http://cafemagdalena.blog27.fc2.com/blog-entry-65.html
	中庭カフェ	http://www.homes.co.jp/contents/kurashito/jack/2013-49/
7	山道	http://www.jpcoast.com/16.html
	俳聖殿	http://www.basho-bp.jp/?page_id=50
	机	http://area-g.net/blog/archives/533
	句	http://www15.plala.or.jp/shun-ran/sakuhin260.html
	芭蕉	http://www.m-gakusei.com/index.php?“あ行”
	三面スクリーン	http://www.city.kurobe.toyama.jp/event-topics/svTopiDtl.aspx?servno=7436
8	古伊賀スペース	http://www.spforum.co.jp/works8.html
	見学	https://www.kankomie.or.jp/spot/detail_21748.html
	体験	http://taiken-jp.net/yawata/
	伊賀焼	http://www.igaportal.co.jp/store/?p=1022
9	展示・販売	http://www.igaportal.co.jp/store/?p=871
	見学	http://www.rakuya.co.jp/event/2014/12/10/kimonostylist4ninten_2/
	体験	http://www.mie-c.ed.jp/smidor/syouhomepage/h25/3gakki/3gakkisyou.html
10	サッカー観戦	http://blog.shinagawa-group.co.jp/toyota/2014/06/17_先週のイベントあれこれ2！/
	朝市	http://www.ja-kumamoto.or.jp/news/janews/2011/04/86
	子ども達の集い	http://tochi.mlit.go.jp/chiiki/land/ex20/1611/index.html

11	基地局	http://caramelbox-kato.blog.so-net.ne.jp/2006-02-25-1
	DJ	http://charge.e-radio.jp/d2013-12.html
12	図書館	http://www.houseco.jp/work/detail/4839/28101
	ドライブスルー	http://kanazawa.keizai.biz/headline/276/
13	忍者	http://honyakuitem.blogspot.jp/2013/04/blog-post_10.html
	領土図	http://green.plwkjp/tsutsui/tsutsui2/chap1/02-02tensho.html
14	ライブ	http://tubagra.com/12182/
	服飾	http://www.asahi.com/fashion/topics/TKY200805100134.html
	銀杏	http://blog.canpan.info/wafu3003/daily/200811/19
	ガラス	http://architecturephoto.net/22537/
	画家	http://italgabon.blog133.fc2.com/blog-category-9.html
15	武士	http://japanese.china.org.cn/jp/txt/2013-04/18/content_28580389_3.htm
	武家屋敷	http://mukayu.com/kanazawa_bukeyasiki.php
16	展示室	http://www.museum.or.jp/modules/topics/?action=view&id=222
	ピロティ	http://yoshizo.hatenablog.com/entry/palacehotel-tokyo-grand-kitchen-terrace-dinner/
17	フードパーク	http://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/docs/2014090800875/
	うどん	http://item.rakuten.co.jp/yukian/kn-02/
	あんみつ	http://www.kashiiseya.co.jp/
	ビール	http://r.gnavi.co.jp/g722600/menu3/
	試食	http://iwakiwholesale.hetem.jp/first_website/blog/post_18.html
18	くみひも願かけ	http://www.kumihimo.or.jp/
	合格祈願	http://obamah.seesaa.net/upload/detail/image/E59088E6A0BCE7A588E9A198.html
	鬼行列	http://rubeusu-trend.com/2922/
19	将棋	http://www.kashiwa-shogi.com/
	メダル	http://www.e-tonya.jp/undokai.com/event3823.html
	メーテル	http://tabino-snap.cocolog-nifty.com/blog/2013/12/post-3029.html
	伊賀鉄道	http://blog.goo.ne.jp/k-hiro-t2901/e/af93134ed101cb36934f8baf84143cee
20	スマホ	http://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/docs/2014090800875/
	龍	http://item.rakuten.co.jp/yukian/kn-02/
	脳科学イラスト	http://ringobito.com/diet/lumosity/